

史料群番号 65

史料群名	あずまいちろう おやまうら <b>東一郎家（小山浦）文書</b>	旧所蔵者	東一郎
探訪時住所	三重県北牟婁郡相賀町小山浦		
現在の住所	三重県北牟婁郡紀北町海山区小山浦		
探訪年月	昭和25（1950）年4月		
史料の年代	明治5（1872）年～明治36（1902）年	史料の総点数	36点
年代の内訳	近代 36点	筆写稿本	あり
既刊行目録	「1950年3月 漁業制度資料目録 第1集 全国篇Ⅰ 日本常民文化研究所・水産庁資料整備委員会」		

収蔵にいたる経緯

「小山浦文書」として収蔵されてきたが、史料の内容は「漁業制度資料目録 第1集」に掲載されている「東一郎家文書」と一致する。ここでは「東一郎家文書」の名称をもちいる。

史料群の概要

探訪地の小山浦は近世から明治22年まで存続し、その後相賀村、昭和3年に相賀町、昭和29年以降は海山町となり、平成17年に紀北町の一部となった。近世の小山浦は紀伊国牟婁（むろ）郡に属し、尾鷲湾に面した沿岸で寛永の頃から鰯網漁が行われていた。  
史料の大半は、明治期の鰯網の経営に関する帳簿類である。明治14年「大漁地引網諸日雇日記帳」は引き網の際に雇った漁民の記録であり、また明治14年「大漁千円祝諸入費附込帳」などは、大漁祝いで掛かった経費などの記録である。

